

会員大会のご案内(鈴木会頭コラム)

今年もあつと言う間に梅も名残りの3月。来月はもう新年度です。

ここで会員の皆さまに今から予定しておいていただきたいことがあります。

それは、「会員大会(4月24日(金)14:00-17:00 お堀端コンベンションホールで開催)」です。

以前の会員大会は芸能鑑賞と優良従業員表彰という内容でやっていましたが、4年前から優良従業員の表彰は祝賀パーティを含めて別途開催するようにしたため、会員の皆さんが一堂に会する場は年初の賀詞交換会だけになってしまっております。ただ、賀詞交換の場ではなかなかじっくりと皆さまに会議所のことをお伝えし、考えていただく時間もとれず、何とか改善したいなと思っておりました。そこで、初めての試みですが、会員大会を独立した形でやってみることにしました。

当日は、まず、一年の振り返りと新年度の活動の計画を、ビジュアルも含め、できるだけ楽しく分かりやすいお伝えします。

その後、会員さんのご商売に刺激と元気をと、ベストセラー「デフレの正体」や「里山資本主義」などの著者で、かつ、小田原の事情にも詳しい藻谷浩介さん(日本総合研究所 主席研究員)に講演をいただきます。

引き続き、藻谷さんの話を受けて、会議所の役員有志が登壇。藻谷さんを囲んで、小田原・箱根ならどうする?というテーマでの熱い議論をお聴きいただきます。円安による原材料高、人手不足と人件費高など地域の中小企業は依然として厳しい経営環境の中にいます。わが小田原・箱根の商売人は何をどう考え、どういう手を打つべきかのヒントをお持ち帰りいただければと願っています。

これから数年は地方創生のかげ声とともに、国からお金が降ってきそうな雲行きです。ただ、黙っていてもそのお金は使えません。補助金があるから何かしようか?ではなく、普段から何が必要で何をすべきか、そのためにはこの補助金を使おうという準備という自分から宿題を見つけてやっておく努力が求められます。会議所の役割はますます重大になると覚悟しています。

4月24日は是非是非、お越しく下さい。一人でも多くのご参加をお待ちしております。事前に申し込みいただけますと助かります。

申し込みは、当所ホームページ

(<http://www.odawara-cci.or.jp/information/20150306.html>)で申込書をプリントアウトいただくか、会報誌商工小田原箱根2・3月号に折込した案内チラシにて、FAXでお申し込みください。

会頭 鈴木悌介